



AICWC.Kyoto



ピープル
ホームページ

このパスポートづくりは
大人に選ぶ責任を思い出してほしい
子どもと一緒に学ぶことを楽しんでほしい
そんな子どもたちの声からスタートしました

発行 | ピープル株式会社

共同制作 | AIC国際学院京都初等部

協力 | 一般社団法人チャレンジドLIFE

Concept + DesignDirection | めぐみ



子どものおもちゃ選びをする人のために
Peopleと子どもたちでつくりました



あそび おもちゃ PASSPORT



「おもちゃとジェンダー」
についての授業実践の中
で、AIC 国際学院京都 初
等部とおもちゃメーカー
ピープル株式会社で、こ
れからおもちゃ選びをす
る方向けの「あそびおも
ちゃパスポート」をつく
りました。



思い切り遊べるってどういうこと？

子どもたちからのメッセージ

AICWC.Kyoto
3年生 Rainbow class

やりたいことがあるんだ、
じゆうにさせて

こどもとおとなで

いっしょにルールをつくりたい！

おとなだけがきめるの？

どうしてダメなのか、
りゆうをきかせて

こどもがきめるなら、
たよれるおとながひつようだよ

子どもたちは、
おとなが子どもの気持ちや動きを止めようとするとき、
ちゃんと理由があるということを知っています。
でもときどきは、なんだか理不尽じゃないかと感じていることも。
子どもにはまだまだわからないことが沢山あるけれど、
なにかを決めるとき、ダメっていうとき、
もっとおとなと話したい、主体的でありたい！
というメッセージがあふれ出てきました。

ピープルからのメッセージ

子どもの好奇心が
はじける瞬間をつくりたい！

私達の目は、子どもの関心を見逃さないために
耳は、子どもの本音をじっくり聴くために
頭は、子どもの裏にでない欲求を探るために
手足は、子どもの好奇心がはじける瞬間を実現するために
心は、子どもの未来を想像するために

Check it out!



好奇心は、生まれながらに持っている一人ひとりの個性。
好奇心を妨げられることなく好きなことをずっと続けられる
と、他者にはとても真似できない「価値」に育ち、イノベーション
を生み出すことにつながります。
そのきっかけを提供できるよう、ピープルは、創業以来 40 年
以上、徹底した「子ども観察」に基づいておもちゃの企画開
発を行っています。

「子どもファーストでおもちゃを選ぼう」

ピープルでは、赤ちゃんの好奇心と一緒に見つけるワーク
ショップや、「子どもの好奇心に基づくおもちゃ選び」につい
ての考え方を共有する活動をおこなっています。
「おもちゃをどう選んでいいかわからない」そんなパパママに
向けて、子どもたちと一緒に考えたメッセージをこの『あそ
びおもちゃパスポート』に込めました。子どもたちの思いが
多くの人に届きますように。

People

子どもがまだ気づかないすてきなもの
おもしろいものしょうかいする
一緒にシアターにいこう！
自分がけいけんして良かったものを
おすすめする
その子のすきなことを調べて、
それに似ているものを教えてあげる

選ぶ自由を
おうえんしたい！

あそび、おもちゃ、服、
ヘアスタイル、本やムービー
どれがいいのか、
まずはじめに子どもに聞く！

子どもが自分で選んだことを
いいね！って伝える

本当に好きなら
そのままでもいいんじゃない？

I like your new
look!
にあってる
なかなかいいね
OK！

子ども同士が、お互いの
好きなこと、したいことを
大事にできなかったときは

悲しい気持ち怒ってる気持ちを
受け止める
気持ちを落ちつかせてあげる
何がいけなかったか一緒にふり返る

Are you guys OKAY?
What is wrong?

子どもたちが考えた
大人になった時
未来の子どものために出来る事



子どもたちがジェンダーバイアスで
何か言ったり、けんかしたとき、
それはジェンダーバイアスだによって伝える
メイクアップとかの CM に女性も男性も出るようにする
男女どちらでもない人が主人公のアニメを作る
女とかわいいをむすびつけない

ジェンダーバイアスに
気づけるようにしたり
ジェンダーバイアスを伝えない！

お子さんとあなたの情報を書き込んで
あなただけのパスポートを作ってください

きみのなまえ

うまれたひ

きみへのメッセージ

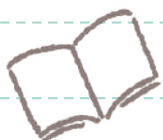


しゃしん

きみとのかんけい

きみによばれたいなまえ

贈り物の記録



変わることも、変わらないことも、成長していく子どもの記録

一人一人見つめれば、
みんな全然ちがう子
性別やからだの機能、
きょうだい関係
それはわきに置いて
いま興味があること、
好きな色、形
してほしいこと、
してほしくないこと、
希望する呼び名
子どものメッセージに心を寄せてみる

誰もが大切に
される場を
考える人からの
メッセージ



みんなを活かす
幸せな社会づくりに
取り組んでいます！

ともみさん（瀧井智美）
（ダイバーシティコンサルタント）

子ども一人一人がおもちゃや遊びを自由に選んで思いっきり
遊ぶことは、一人一人が個性豊かに人生を歩んでいく土台を
作ります。自分で考えて、自分で選べること、その選択が尊
重されること。未来を生きる子どもたちが自分らしい選択と
自分の個性や成長を応援してもらえる幸せ社会と一緒に作っ
ていきたいですね。

大人思い込み（バイアス）を解きほぐすアドバイス

“普通は〇〇でしょ”と口にしたくなる時ありますよね。でも
「普通」ってなんでしょう？「普通」と思っていることは人そ
れぞれ。「普通は・・・」「こうあるべき」「こうでないと」と
いう思い込みや決めつけは生きづらく、個性を発揮できず、
選択肢を狭め、幸せを感じにくい社会に繋がります。
まずは目の前の子どもが大事にしていること、望んでいるこ
と、その自分らしさに目を向けること。そして想像力や共感
力で一人一人に寄り添うこと。そのことは私たちにも新しい
景色を見せてくれます。子どもたちから私たちが学ぶことも
たくさんあるでしょう。子どもたちも私たちも選択肢や可能
性を広げ、みんなの笑顔を増やしていきたいですね。
まずは一人一人違う子どもの興味や“好き”を、否定せずに
受けとめてみることに。それが、私たち大人にとっても新たな
世界を楽しむ入り口になるかもしれません。